

<http://endorganpillaging.org/an-update-chapter-eleven-a-crime/#wang-lijun-experiments>

最新報告書（2016年）
第11章 犯罪
II 王立軍の人体実験

殺人装置

王立軍は重慶で仕事をしている間に254件の特許を取得し、その内221件が2011年に申請しており、平均1.7日に1件の割合で申請していたと2014年8月27日に『北京青年報』が報道している。同報道では、「原発性脳幹損傷衝撃機」（脳幹損傷を狙った衝撃装置）と呼ばれるハイテク機器にも言及していた。

この特許の発明者は王立軍と、重慶第三軍医科大学内の大坪医院 野戦外科研究所 第四室。彼らは『創傷外科誌』（外傷外科誌）（2008年第2号）に「有限要素のシミュレーション、及び準静的状態での側頭部衝撃によって引き起こされる外傷性脳損傷の臨床的意義」と題する論文を発表している。

同論文の目的は下記の通りとしている。「側頭部衝撃による外傷性脳損傷のシミュレーションを確立し...側頭部衝撃による脳損傷の生成機序を検討し...結果：側頭骨の衝撃位置の加圧と頭蓋内圧は衝撃力が増すとともに上昇した...シミュレーションの結果と生体実験の結果が一致した...この研究は、側頭部衝撃による脳損傷の診断と予防にとって重要な意義がある」

同論文は、実臨床に役立つデータを提供できるようにこの実験経過を検討したソフトウェアによるシミュレーションに言及している。また、2007年10月までの期間、衝撃試験に12人の遺体頭部が用いられたとある。被験者は26歳から38歳の男性で平均年齢は31歳。主たる研究目的である救命のためという大義名分とは食い違う。それどころか異なるレベルでの脳損傷を研究するもので（脳幹を主として狙った強力な衝撃による損傷は、犠牲者に様々なレベルの認知・感覚運動機能障害をもたらし、命を脅かしかねない呼吸・循環機能不全を引き起こす可能性がある）最良の殺人方法を定めるためのものとも言える。こめかみに正確に狙いを付けた衝撃は、脳幹損傷、意識の喪失、さらには脳死につながりうる。心臓は拍動しており、全ての臓器や人体組織は生き続ける。臓器の機能を維持し、レシピエントの拒絶反応を減らすために、致死的注射に替わる効果的な方法である。

中国の特許検索システムから、申請番号201120542042.Xの「原発性脳幹損傷衝撃機」を検索できる（写真下）。発明者は王立軍と、12人の頭部を使って衝撃実験を行なったという論文の共著者である。摘要欄にはこの装置は「簡単な構造で、作製も容易で、広い運用の推進に適している」と記載されている。中国では実用新案特許は、申請日より10年間保護される。この申請は2011年12月11日、公告日は2012年8月だが、2016年2月に特許が法的に時効となっていることは奇異だ。

(19) 中华人民共和国国家知识产权局



(12) 实用新型专利

(10) 授权公告号 CN 202376254 U

(45) 授权公告日 2012.08.15

(21) 申请号 201120542042.X

(22) 申请日 2011.12.22

(73) 专利权人 重庆警官职业学院
地址 401331 重庆市沙坪坝区大学城景铮路
666 号

(72) 发明人 王立军 尹志勇 赵辉 王正国

(74) 专利代理机构 重庆市前沿专利事务所
50211

代理人 郭云

(51) Int. Cl.

A61D 1/00(2006.01)

权利要求书 1 页 说明书 3 页 附图 3 页

(54) 实用新型名称

原发性脑干损伤撞击机

(57) 摘要

本实用新型公开了一种原发性脑干损伤撞击机,在机座(1)上横向设置高速气炮(2),高速气炮(2)的右边对应设有长杆状的二次锤(3),该二次锤横向穿设在固定座(4)的安装孔中,且固定座(4)支撑在所述机座(1)上;在所述二次锤(3)的右边水平设置动物固定平台(5),该动物固定平台右边的机座(1)上竖直设有挡板(6),在所述二次锤(3)的右端部通过连接杆(7)设有打击球(8),且所述挡板(6)靠近动物固定平台(5)一侧的板面上设有缓冲垫(9)。一种本实用新型能较准确地制备中型动物的原发性脑干损伤模型,并较好地克服传统两种方法制作动物原发性脑干损伤模型的缺陷,结构简单,制作方便,适于推广运用。

